

(4) 投稿欄

こだま

1651
福井

災害教訓に 堤防補強を

松岡町 石井 安乘

災害は忘れたころにやってくるとは先人たちの提言でした。しかし本年は矢張り早に新潟、福井へと連続集中豪雨。大洪水に見舞われ、天災だがついに押し寄せた。

若者、行政の 支援に感謝

武生市 北野 和夫

まだだが、災害に遭われた人たちは多くも足も出せずお先まじり暗い夢も希望もかかれてたんの苦しみ、そこで一言提言します。集中豪雨の予測されつる場所など軟弱な地点の総点検実施。付近の頑丈な分厚い大型コンクリートの張り付けも堤防のカサ上げ工事は国民の生命、財産を守る最善の方策と考えられます。九頭竜川も見に行きま

集中豪雨の福井は無残である。しかしそこで見た若者、中学生の姿に感動した。何かと問題の多いという報道はやはり一部のことか。当地でも今立町に近い所では被害を受けて、わが家の近辺は下水の逆流が相次ぎ、汚

物までがめ寄せた。雨のやみ、ひと安心と思つた先先に早くも市の行動を買った。下水道課の職員と衛生会社による洗浄、消毒である。災害対策本部の設置は知って、行動してこれほど早くていなかっただけだ。

「激甚」指定し 早急に復旧を

静岡県 高田 昇

梅雨前線が活発化し、福井市では観測史上最大を記録したこの豪雨は十八日たちまぎたして足羽川の堤防が決壊して、甚大な被害を巻き起こした。死者、行方不明、住宅とその被害は言語に絶するもようであり、政府は指定して、各自治体と復感します。調査が進むにつれて被害は拡大することは確実であり、復旧作業の長期化は必至です。全国からの援護の手が差し伸べられると思いますが、最善の努力をしていただきます。

消防、警察など協力して、力強い復旧に努力している地域住民のたくましい姿が報道され頼もしさを感ずる。幸いに、自衛隊はじめ、消防、警察など協力して、力強い復旧に努力している地域住民のたくましい姿が報道され頼もしさを感ずる。幸いに、自衛隊はじめ、消防、警察など協力して、力強い復旧に努力している地域住民のたくましい姿が報道され頼もしさを感ずる。

平成 16 年 8 月 / 日 刊
福井 新聞

豪雨の被害で
廃業した工場

朝日新聞 8.4

体労働はできない。せめて
お金があったらと実家の工
場を見る度に思う。

主婦 広瀬 静子 16
(福井市 54歳)

ボランティアの人たちの
支援も寄付もありがたい。

福井豪雨の見舞金とし
て、2億円の宝くじ当たり
券が匿名で福井県知事に届
いたと新聞で知った。実は
私の実家は豪雨で有名にな
った福井市春日町にあり、
床上浸水で大きな被害を受
けた。堤防が決壊して土砂
が大量に流れ込んだ。
家の中にはもちろん、隣で
母と兄夫婦が営んでいる家
業の繊維加工の工場も泥水
だらけになった。機械がす
べてためになり、廃業に追
い込まれてしまった。
付近は住宅地で、商売を
している家も少なくない。
住居はかりかこの先のあて
もな／＼、母たちが途方に暮
れる中、宝くじのニュース
は本当にうれしかった。
夫は7年前に福井県三国
町沖で起きたタンカーの重
油流出事故で、4日間除去
作業のボランティアに行っ
た。私は脳梗塞の後遺症の
ため手足に力が入らず、肉

平成16年8月4日 朝日新聞

2億円宝くじ寄付に心底感服

16.8.4
毎日

主婦 長 澄子 67 (東京都港区)

何事もお金第一の世の中
で、2億円が当たった宝くじ
が豪雨に見舞われた福井県に
送られたというニュースに心
の底から感服しました。
当たりくじには匿名の手紙
が添えられ「少しでも援助に
なれば幸いです」と願う幸運に
恵まれた宝くじ当選券を送りま
す」と書かれてあったとか。
匿名氏がたくさん買う愛好者
か、偶然買ったのが「幸運に
恵まれた」のか分かりません

私もさきやかな金額ですが
ユニセフやNGOに寄付して
います。でも、もし2億円当
選したら、「一部ならともか
くも、全額まず貯金」などと
考えると思います。匿名の方
の勇気に拍手！

平成16年8月4日 朝日新聞
毎日新聞

こだま

16.8.5
福井

いつまでもあなたの大切な宝物であってほしいと願っている。

近くの被災地
どう救えるか

小浜市 金森 雄高 (40歳)

水害で大量のごみが出ている。この問題で当地の方々は大変な苦勞が続いている。

ポランテアも増えている。しかし数カ月、数億円かかる災害後のごみ問題を解決する糸口はすぐには見つからない。

阪神大震災に手伝いに行ったとき私は、復旧には近隣県や市町村がどれだけ手を貸すか、その気があるかにかかっている

と感じた。なぜなら被災者は自分の家や仕事を復旧させるので手いっぱい

で、町の問題まで抱えられない。日々の暮らしから出るごみを減らす努力も限界があるし、第一たいていの大人は不眠不休

に泥を汚れてはいるが、

だからいつそ災害とから

は、自分が被災者になっ

たときどうするかより、

近くの被災地をこのよう

に救えるか、自分たちが

どのように非常口になれば

るかを研究する方が備え

になる。無事な所の人は

為ならずは昔からの知恵

でもある。それが何かあ

ったときに安心できる町

と地域のかかわりの形だ

とと思う。
奉仕活動通じ
協力の心学ぶ
このたびの福井豪雨で被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。豪雨発生より一週間、私にもできることはないかと模索中だった。そんな折、私を決意させたのがポランテア要請のチラシだった。
振り返れば、阪神大震災のときも原油流出のときも同じ思いにかられた。でも手をこまねいているだけで時は過ぎ、何もできない自分に憤りを覚えた。もう同じ思いはしたくない。今度こそ何かお役に立ちたい。私は妻と二人で勇んでポランテア登録をした。

日曜日の朝八時すぎ、わが幸町二丁目総勢十七人は三台の車に分乗し、同市河和田地区へ出発。

連日の各報道により被害の状況はある程度把握していた。しかし、道路の陥没や橋の欄干にひっかかるごみの山を目にするたびに被害の甚大さに目を覆った。

現場に着いて、いざ作業。床上浸水した家で床板をはずし泥かき作業。板をはずし泥かき作業。重労働だが後悔はみじんもない。それどころか普段何気なく生活していつい忘れがちな「奉仕と協力の精神」を呼びさましてくれた。感謝するとともに被災者宅の一日も早い復興を望む。

雨から一週間が過ぎた日曜日。私の町内では堤防の草刈りと河川の清掃奉仕が行われた。作業が一段落したとき、集められたごみの中に、私は布製のランドセルを見つけた。服間小学校の校章、記名がある。成田山のお守り、三つの指のお約束も付いていた。教科書や文房具はないが、持ち主の子には、大切な宝物に違いない。

私は電話帳を繰った。電話をかけたが通じない。夜の八時。もう一度電話をかけたが通じない。仕方なく電話帳から地番が近い家を聞くことに泥を汚れてはいるが、

訪ねて、持ち主のK君に泥のついたランドセルを渡した。彼はしっかりと抱きしめてくれた。おばあちゃん、「お母さんと私の間に、K君ら姉弟を入れて、むかで競争のよううにして山道を逃げた。命がけでしたよ」と涙の物語を話された。

水間川・服部川・鞍谷川と濁流に流されたランドセルが、一週間ぶりにK君の手に戻った。将来あなたが立派に成人されたとき、お母さんとおばあちゃんに助けられて、姉弟みんなが生き延びたら出るごみを減らす努力も限界があるし、第一たいていの大人は不眠不休

に泥を汚れてはいるが、

だからいつそ災害とから

は、自分が被災者になっ

たときどうするかより、

近くの被災地をこのよう

に救えるか、自分たちが

どのように非常口になれば

るかを研究する方が備え

になる。無事な所の人は

為ならずは昔からの知恵

もある。それが何かあったときに安心できる町と地域のかかわりの形だ

とと思う。
奉仕活動通じ
協力の心学ぶ
このたびの福井豪雨で被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。豪雨発生より一週間、私にもできることはないかと模索中だった。そんな折、私を決意させたのがポランテア要請のチラシだった。
振り返れば、阪神大震災のときも原油流出のときも同じ思いにかられた。でも手をこまねいているだけで時は過ぎ、何もできない自分に憤りを覚えた。もう同じ思いはしたくない。今度こそ何かお役に立ちたい。私は妻と二人で勇んでポランテア登録をした。

日曜日の朝八時すぎ、わが幸町二丁目総勢十七人は三台の車に分乗し、同市河和田地区へ出発。

連日の各報道により被害の状況はある程度把握していた。しかし、道路の陥没や橋の欄干にひっかかるごみの山を目にするたびに被害の甚大さに目を覆った。

現場に着いて、いざ作業。床上浸水した家で床板をはずし泥かき作業。板をはずし泥かき作業。重労働だが後悔はみじんもない。それどころか普段何気なく生活していつい忘れがちな「奉仕と協力の精神」を呼びさましてくれた。感謝するとともに被災者宅の一日も早い復興を望む。

雨から一週間が過ぎた日曜日。私の町内では堤防の草刈りと河川の清掃奉仕が行われた。作業が一段落したとき、集められたごみの中に、私は布製のランドセルを見つけた。服間小学校の校章、記名がある。成田山のお守り、三つの指のお約束も付いていた。教科書や文房具はないが、持ち主の子には、大切な宝物に違いない。

私は電話帳を繰った。電話をかけたが通じない。夜の八時。もう一度電話をかけたが通じない。仕方なく電話帳から地番が近い家を聞くことに泥を汚れてはいるが、

訪ねて、持ち主のK君に泥のついたランドセルを渡した。彼はしっかりと抱きしめてくれた。おばあちゃん、「お母さんと私の間に、K君ら姉弟を入れて、むかで競争のよううにして山道を逃げた。命がけでしたよ」と涙の物語を話された。

水間川・服部川・鞍谷川と濁流に流されたランドセルが、一週間ぶりにK君の手に戻った。将来あなたが立派に成人されたとき、お母さんとおばあちゃんに助けられて、姉弟みんなが生き延びたら出るごみを減らす努力も限界があるし、第一たいていの大人は不眠不休

に泥を汚れてはいるが、

だからいつそ災害とから

は、自分が被災者になっ

たときどうするかより、

近くの被災地をこのよう

に救えるか、自分たちが

どのように非常口になれば

るかを研究する方が備え

になる。無事な所の人は

平成16年8月5日刊
福井新聞

こだま

16. 8. 6. 福中

水防のソフト ダムより重要

武生市 高橋 嘉宏
七月二十五日三つのダム。浮力の原理が働いてラピアで、鯖江市河和田の山肌を見ますと、これは人災であることをうかがわせます。山は伐採されて間がありませぬ。伐採するときは、斜面を横断する線に、何段も、根の深い木の列を残すのが原則です。植林しても木が育つまでには十一年掛かります。特に根の浅い杉ばかりで、斜面を保持するのは困難だからです。

植林しても木が小さい間は、裸山と同じで、この写真のように泥流を発生させ、下流に甚大な被害をもたらします。なぜなら泥を含んだ川水は、

泥を含んだ分比重が増し、車でも何でも浮き上がり流すのではありませぬ。新潟水害の情報は伝わっていませんが、大

またダムの話が持ち上ります。これは全国的に、水防の技術が廃れている雨は今後、二百年間は降りを意味します。水害は水防のソフトを充実させるべきです。新潟水害の情報は伝わっていませんが、大

初代校長、刈田益二先生に引率されたバスと出会った。「今日はどこまで遠征か」と尋ねると、「今日は剣道ではありません。災害復興のお手伝いです」と答えた。

インターハイに出場させていたたくメンバードあり、特に進学試験が、厳然として目前に構えている。

剣道は福井県の代表であり、進学は一生の岐路に立たされている。勉強もしたいだろう。しかし被害の甚大さを知らされる



大坂良一版画展から



またJ.R.越美北線の足羽川に掛かる五基の鉄橋が流失されて不通となりました。道路も寸断されになりました。新聞報道によると復旧をするのに巨額の経費がかかるとJR側は語っております。

また廃線の危機を迎えようとしています。時間を掛けてでも住民のためにせひとも復旧をしてほしいと思います。JRがどうしても無理というならば、行政の力を借りて第三セクターとして残すていたときに、文努力をしていただきたいと思ひます。福井県民の皆さまも頑張ってください。祈っています。

阪神淡路大震災も経験しその一端は最近の異常気象が原因とも思える。核

も最も大切なのは水、次 燃料のリサイクルなどで、ドと称するものが残って

が食料、電気だと思ふ。 二酸化炭素の排出を抑制 いて、豪雨時の流量調整

先曰、本欄で八十歳代 するとは結果として福 がなされているが先人の

の方が、自然を大切にし 井の自然や人命を守るこ 知恵であろう。郷里の福

たいので、美浜町の中間 とにつながらる。福井県に 井県には最大の九頭竜の

貯蔵施設誘致には反対だ は自然や他の特産品に負 流れがあるが、昭和の初

という記事を見た。福井 けない、ライフラインの めはS字形の川流床であ

の美しい自然を大切に思 電気をつくることができ ったのを、河川改修のた

う気持ちは理解できる る発電所がたゞさんある。 め堤防を築き真つすくな

が、よく考えるべきだ。 今回の災害であつたため 流れに変えたが、程なく

水は水源が豊富なので確 て電気の大切さを実感し 豪雨で決壊して元の流れ

保できる。食料も輸入可 た。これを機によく考え のS字形に戻り、民家が

能だ。しかし、電気は輸 てはどうか。 流出した記憶が鮮明によ

入できない特別なもの だ。生命維持のために必 みがえってくる。

要な施設の確保は電力会 社だけでなく国や県が責 任をもつて行うべきだ。

美浜町 田川 明広 (30歳) 今回も被災地で北陸電 力の方が不眠不休で働く

のを見て、その使命感が 伝わってきた。わずか数 日の電気が復旧するのを

熊野古道は人為的な改 修は行わず丸太木を横に 並べて段すべりを防ぎ、 また宇治川のワンドの先 人の知恵に学ぶべきであ る。

電気の大切さ

水害で再認識

美浜町 田川 明広 (30歳)

先日の新潟、福島の大豪雨を心配していた矢先に、福井でも豪雨水害が発生した。私も美山と今立にボランティアで参加した。

現場は悲惨な状況で、電気は回復しておらず、不衛生でも水が出るだけ。ありがたい状況だった。

人為的要因も

京都市 齊藤 時和 (82歳)

今回の豪雨災害は、高齢者の犠牲が目立ち、心痛の限りである。降雨は自然の現象であるが、災害の発生は人為的な要素が多分に含まれている。うな気がしてならない。京都の宇治川にはワシにつながらりかねない。

平成16年8月7日 福井新聞

現場にいて、水量の把握などをし、現場に即した対応をして、大事な市民の家財道具などを、二階に上げるなどの指示をしたり、特に残念なことば、自動車などの高台移動を指示すべきであったでしょう。一家に何台もある車両の被害も莫大なものとなってしまっ

堤防や排水

改良が必要

福井市 柴山 一雄

この度の大水は予想でなかった。足羽川は安全だと思ひ込んでいた。こんなに川の流れの速いには驚いた。すこい流れて上流の貯水能力がなかったかということである。九頭竜川と日野川ではダムがあり貯水能力がある程度まできている。川底の浅さであるが、昔は川船による砂利(小

災害の状況は現場で把握を

福井市 岡花 清 (68歳)

このたびの福井市内木田地区、みのり地区の水害被災は想像を絶する事態になり、復旧にはかなりの時間がかかるでしょう。それにしても、気象庁や行政、警察がもっと早

ボランティア 人生に有意義 広島県 友野知代治 (73歳) この経験は必ず、これからの人生に有意義に作用するものと信じます。ここからその労をねぎらい、敬意を表した

堤防などの被害は深刻で、被災された方々の心痛はいかばかりかとお察しいたします。加えて、記録的な猛暑で心身ともにお疲れのことと存じます。こうした状況の中で、夏休みに入ったばかりの高校生たちが、ボランティアとして復旧作業にか

この活動を通して、人間関係のあり方や日本建築のありかた、地形と災害との関係などについても、見聞を広げてほしいと期待します。どうか健康に気をつけて、無事目的を果たしてください。

90年の人生で増えていくのが分かる。

初めての濁流

福井 電柱の三倍もある杉の木とともに白い腹を見せ

美山町 佐々木俊雄 (68) 家で電類が、雑木やごみ

(89歳) と一緒になってとんとん

私は今までに足羽川水 流されていくのが見える系の水害については三度ではないか。

の経験を経てきているの 万事休すとはこのこと

で、七月十八日の朝六時 かと思ひ、二階から下り

半ごろの猛烈なあの雨の て娘夫婦に早く家へ帰る

降り方にもさほど心配は ように伝えた。娘の家近

していなかったのである。 くに行き、土堤に上って

朝の七時すぎに集落の みると、娘の家はもちろ

下手に住んでいる娘夫婦 ン、それに連なる六軒全

が青い顔をして入ってきた 部が、家財道具を流され、

た。そして川の流れのあ 住宅の骨組みのみが荒れ

まのすきに恐れ、避 狂う濁流に抗して生命の

難してきたので、そのと あるがごとく頑張つて立

きの水かきを聞きなが っているのを見たのであ

ら、さてはこれは大変な 九十年近く生きてき

ことになるのではこの予 て初めて見る光景であ

感がそのときにサッと走 る。愚鈍なる私でも手を

つた。 合わせて念仏も自然と出

二階に上がってみる てきたのであった。

と、水かきがぐんぐんと 美山町には長年の懸案

である足羽川ダム建設の問題が今も残されている。しかし、もしダムが建設されていたとしても今度の予想外の雨量では損害を免れることは不可能だったのではないか。

思えば県の施策により、足羽川への山々を緑に変えて、この緑の山を雨量の調整役として、つまりそれが「緑のダム」としての効果を発揮して、洪水とは完全に縁を切ったつもりだったのに、この現実を見せつけられては、もはや言うべき言葉もないと言えまいか。最後にボランティアの皆さん、ありがとうございました。

朝刊 平成 16年 8月 11日
福井新聞

こだま

16.8.16 福井
 福井が集落でもため池の水が堤防を乗り越え、滝のより、自ら作業に加わる。うに民家に流れ落ちて二十歳代の男性はオートた。総出で土のうを積み、谷川沿いの道路に流し、た。あふれる水で集落の全ハウスは水びたし。野菜は全滅であった。しかし各地の被害状況にあらためてお見舞い申し上げます。

四日間のボランティアに参加した。市内の粗大ごみの搬出、一輪車での泥出しは暑さとおおいでつらいが、一乗地区は目に入るものすべてが自然の怖さを思い知らされる。手続きを済ませ、キャンプ場のトイレの土砂を人海戦術で外に出した。トイレの中、キャンプ場とも一筋余りの土砂がびっしり。このように土砂を一気に押し流す自然の猛威。想像を絶する。スコップは歯が立たず、素手でバケツに入れ、リレーで外に運び出す。私より年上であるという経営者の方であらうかし

早い復旧を心からお祈り申し上げます。

豪雨被害援助

皆さまに感謝

美山町 松田 政信

この度の福井豪雨で山からの土砂と足羽川はんらんにより、住宅と工場、倉庫などが泥水につかりました。アツという間の出来事でした。それを見て自然災害の恐ろしさにほん然自失の状態でした。どうしてよいか見当もつかないときに、集落では炊き出しを素早くしてくださいました。非常用の救護物資も配布してくださり、ボランティアの方々が続々と来てくださいました。

住宅の方はだいたい片づきました。それからは毎日三十人近い方々が工場の泥水の排除や機械の泥落としなどをしてくださいましたので、八月初めにころにはだいたい整理ができました。

二週間の長い間、猛暑の中を連日多くの方々の必死の作業と励ましのおかげで、言葉をお聞きいただき、その上たくさんのお見舞いもいただきました。世間の多くの方々に深く感謝しております。皆さま本当にありがとうございました。

一日も早い復旧を祈る

福井市 村中 昭徳

猛暑の中、泥まみれになり、まず住宅の清掃からして、床下までもぐり、泥水を除去していただき、たおかげで一週間後には有の大被害を出した。わ

福井新聞 16年8月16日 朝刊

ごだま

今立と美山で

重油の恩返し

三國町 番戸 玲子

車窓から見る田園、道

路横に積み上げられたご

み、今立町を襲った水害

は想像を絶するつめ跡を

残した言葉が生まれせん。

重油災害で三國の海を美

しくしていただいた恩返

しの気持ちでボランティア

アに参加しました。

他のボランティア活動

はしておりましては災害

ボランティアは初めてで

す。家の中はどうか生

活ができていますが、小

屋が泥に埋もれており、

収穫したばかりのジャガ

イモは泥の中でした。

一日かかって三つの小

屋はきちんと片付まし

た。途方にくれていた家

主の顔に笑顔が戻ってき

ました。

美山町蔵作地区、ここ

は泥と違って砂利です。

家の中を水が流れたの

多くなりました。

区役員をしている家

では、夫婦で地区の仕事

をしていて自宅を顧み

る余裕がないそうです。

部屋の中まで泥が入り

大変なありさまでした。

炎天下の砂利運び、でも

つらくないのが不思議で

す。

老人の家の片付けを手

伝ってあげてほしいで

す。私も六十五歳にして

初めて被災地の現状を目

の当たりにしました。重

油災害がなければ被災地

へは行かなかったと思

います。一人でも多くの

人がボランティアに参

加してほしいです。

代案を審議中の流域委

足羽川治水の
具体案策定を

あわら市 田中 松雄

足羽川本流のダム(足

羽川ダム)計画の代案と

して、(部子川ダム・河

川トンネル併用案)が公

表されたとき、代案には

多くの問題があると投書

(十四年八月)したが、

今回はその続きである。

部子川に治水ダムを建

設しても、それだけでは

効果はない。各支川とダ

ムを結ぶ河川トンネルが

できなければ無用の長物

となる。

洪水時の「流水と土石

まじりの激流」を計画通

りダムまで自然流下させ

ることは至難の業であ

る。今になっても▽各支

川の流入口の位置と流入

洪水量▽水海川の河底横

断を考慮にいたれた縦断線

形と平面ルートの概要を

ら公表されないようつで

は、トンネル計画は机上

の空論だと思つ。

代案を審議中の流域委

員会で、既に決定済みの先送りにした「審議答申
足羽川の基本高水を毎秒 以のダム問題の迷走を
二千六百立方尺から毎秒 加速させることになると
二千立方尺に変更し、 思う。
足羽川の治水には、下 足羽川の治水には、下
ダムの洪水調節量も大幅 種の河道改修(工事中)
に減らす案を検討中との 流の河道改修(工事中)
新聞記事を見た。これが と上流の治水ダム建設
本当ならば、前回の「玉 (未着工)が車の両輪で
虫色の結論でダム問題 を期待して結びとしたい。
ある。福井市内で大規模
な引掘工事ができない現
状では、ダム問題を軌道
にのせることが肝要だと
考える。
この問題を検討中の各
種委員会で足羽川治水の
具体案が策定されること

16.8.17.福井

朝刊 平成16年8月17日 福井新聞

ありがたい

豪雨見舞い

鯖江市 酒井登美子

74歳

七月十八日の日曜日、朝五時に目が覚めた。雨が降る外をたたきだなんてな眺めていた。大雨になってきた。いやな感じ。

六年前の大雨で床下浸水 見ていた。あきらめよう。 た。ようやく水が引いて になったときと同じ。こ そのうちポンプの音がし きた。 きた。 ほっと楽になっ たらけの畳や押し入れの きた。 みんなで一生懸命に泥

畳を上げよう。慌てて 二間上げた。別の部屋に 来たと、ぶくぶくと体 が浮く。畳が上がってき ない。もうだめ。ため息も 出ない。だんだんたまたま くる。ああ、怖い。ど 若いお母さんが朝早く、 フットバレーの試合に出 苦勞さま。お見舞いまで 靴を履いてあちこち歩 いったので、幸せなこと 頂いて頭が下がる思いで き、水につかったものを 自動車一台は助かっ す。まだまだ大変な所も

朝刊 平成 16 年 5 月 9 日 福井新聞

ある。家がなくなってし まって人。本当にお ので洪水の際、川からの 水の毒が胸が痛くなる思 水の浸入も安易でした

お見舞いをいただいた。 涙が出てどうしようもな く、下げた頭が上げられ なかった。ご親切にあり がとごさいます。 行く手を半減された洪 水は、川の水位の低下に ついていけず、集落の低 地に流れを求め、川に落 福井豪雨では私たちの 集落も被害を受けまし た。もともと被害を受け やすい鞍谷、河和田、両 河川の合流点に位置する 関係上、やむを得ないこ とかもしれませんが、そ の地に昔より、瀆と呼 ばれた土地がありました。 二畝ほどの名の通り水 害を受けやすい低地で、 昔は桑畑でしたが年代と ともに野菜畑、水田と変 わり、経済繁栄とともに 盛り土をし水害を防ぎ、 一つの団地ができました。 道路もできました。

水害防止考え 造成、開発を

鯖江市 宮沢 勇

これは一例でしょう が、各地で行われている 開発や造成工事など、そ れは必要でもありますが 半面、自然破壊のリスク につながり、鉄砲水など 人災につながる要因にな っています。開発に当た り、このような点もまた 考慮すべきではないでし ょうか。

こだま

井で被災地に友人を訪ねま
福したが、あまりのひどき
18.22に言葉もありませんでし
た。家の柱だけが残され
16.た中で、流れこんだ土砂
を運び出している姿を見
います。

ポランティアの
功績に表彰を

福井市 岡花 清

(68歳)

福井豪雨災害には、全
国からポランティアの皆
さまが救援に駆け付けて
くれた。その人数は延べ
六万人ともいわれていま
す。毎日毎日多くの人々
が、休日も返上で頑張っ
てくれ、ようやく、町中
も元の姿に戻ってきたよ
うです。福井県には、先
の三国沖の重油流出の時
も、多くのポランティア
の皆さんが駆け付けてく
れました。

自然の怖さ

豪雨で痛感

福井市 好川八重子

金権腐敗の時代、人の
ため世のために無私無欲
で被災地に走るポランテ
ィアの皆さまは国民の模
範者であるでしょう。今
回の豪雨水害を見ても分
かるとは思います。しばらくし
カ月はと前、近くの山に

かのように、自然の大災
害には、人海作戦に頼る
以外にないと思います。
そのためには、ポランテ
ィアの大発展を願うこと
も、ポランティアの皆
さん、団体であれ、個
人でもよいが、自治体で
もっと功績顕彰をしてい
たいと途方にくれてしまいま
す。目の前の山は山肌が
削られ、道や谷川は元の
形もありませんが、再び
大災害にならないよう心か
ら祈るばかりです。福井
豪雨により災害を受けら
れた多くの方々が一日も
早く普通の生活に戻られ
るよう、心から思います。
二、三日前、足羽川の
堤防を通り、流されてき
たたくさん木や家具類
などを見て、あらためて
被害の大きさを知らされ
ました。そして災害の一
カ月はと前、近くの山に

平成16年8月22日 朝刊
福井新聞